

資料 7

令和2年度

事業計画書

社会福祉法人 登別千寿会

1. 社会福祉法人 登別千寿会 事業計画

◎法人 基本方針

『人間愛』を基調とした処遇に徹し、利用者の人格を尊重し、より家庭的な雰囲気の中で自由に生活することをモットーに、全職員一体となり“明るく健康的で、生き甲斐のある豊かな生活”の為、精神的ニーズの把握に努め、個々の特性をよく理解し、豊かな人間関係をすすめ処遇向上に努める。

【事業方針】

平成30年に開設した緑風園サテライト型特別養護老人ホーム ニナルカの里及び移転した緑風園居宅介護支援事業所の運営も軌道に乗り、順調に進んでいるため、法人全体として、さらなる利用者の利便性の向上、サービス選択の拡大につなげ、利用者サービスの向上、地域貢献にも積極的に取り組んでいき、地域に根ざした事業を行う。

一方、人材不足による職員確保が困難な状況であり、法人職員による職員紹介制度の創設や介護職員の業務省力化に係る介護補助員（食事介助の補助、居室のシーツ交換など）制度の検討などをしていきます。

また、緑風園園舎の老朽化、設備・備品の更新・修繕が多くなってきており、特に介護用ベッドの老朽化が著しいため、リース契約などで、計画的な入替を行っていきます。

2. 特別養護老人ホーム緑風園 事業計画

◎介護老人福祉施設 定員：100名

◎(介護予防)短期入所生活介護事業所 定員：12名

【事業方針】

少子高齢化の進行による労働者人口の減少、福祉系学校の生徒数の減少等の影響により、人材確保が益々困難になっている為、職員確保の対策強化がより一層重要であり、多様な施設広報活動の取り組みを進めていきます。

特養の入所者が原則要介護3以上であり、入所者の認知症や介護の重度化が進み、入所者確保がより困難になってきており、待機者状況の確認や調整を図り迅速な入所者確保に努め、協力病院である三愛病院との連携により、入所者の体調管理や感染症対策、看取り介護に積極的に取り組みます。

ショートステイ（介護予防）短期入所生活介護）に関しては、登別市の利用者のみならず、隣接自治体である白老町の利用者の利用拡大に勤め、1日平均の利用者8名を目指し、取り組んでいきます。

また、施設開設から37年、増築から21年が経過し、設備の老朽化が進んできている為、計画的な改修・更新を行い、利用者が安心して楽しく暮らせる施設を目指します。

<<各部門事業計画案>>別紙1～5参照

『今年度目標』

- ・法人職員紹介制度の創設や介護補助員制度など人材確保や介護職員の働き方などを検討し、職員の働きやすい環境や離職防止に努める。
- ・出来る限り空床を作らない様、新規入所者を10日以内に入所させる。
- ・ショートステイの利用者人数は、1日平均8人を目指す。
- ・緑風園の設備・備品の修繕・更新を計画的に進める。特に、利用者用介護ベッドの老朽化が著しいため、リースでの計画的な入れ替えを進めていく。

3. デイサービスセンター緑風園 事業計画

◎地域密着型通所介護 定員：18名

◎通所型サービスA 定員：7名

【事業方針】

平成30年4月の登別市介護予防・日常生活支援総合事業の開始により、要支援者の通所型サービスAの利用定員1日7名と地域密着型通所介護の利用定員1日18名と合わせ25名の利用者へのサービス提供に努め、1日の利用者数を要介護16名、要支援者4名の20名平均を目指していく。

他事業所への営業を積極的に行い曜日別の空き情報の提供、デイサービス体験など積極的に行い、新規利用者獲得に繋げていき、欠席された利用者への振替利用の促しなどにより、稼働率の向上に繋げる。

また、地域住民・町内会等へのデイ体験会・見学会を開催し、広報活動に努めます。

<<部門事業計画案>>別紙6参照

『今年度目標』

- ・1日の地域密着型通所介護利用人数16名と通所型サービスA利用人数4名の計20名の利用を目指す。
- ・春と秋に近隣町内会への体験会・見学会を開催し、サービスの広報活動に努めます。

4. 緑風園サテライト型特別養護老人ホーム ニナルカの里 事業計画

◎ユニット型地域密着型介護老人福祉施設 定員：29名

◎ユニット型(介護予防)短期入所生活介護事業所 定員：11名

【事業方針】

登別市初の地域密着型特別養護老人ホームとして、緑風園で培った経験と知識を活用し、『住み慣れた地域で、心をつなぎ、共に楽しく生きる。もう一つの我が家を目指します。』を施設理念に掲げ、施設においても自宅での生活を継続できるようなサービス提供に努めていきます。

ショートステイ事業は、介護者の急病や冠婚葬祭などによる急な利用に対応できる緊急ショートステイ専用ベッドを1室用意し、迅速な対応が出来る環境を整え、幌別地区という立地を活用し、新規利用者拡大に努め、1日の利用者人数6名以上を目標にする。

施設内に『地域交流スペース(介護予防拠点)』を設けており、地域町内会や地域住民が自由に使用できる環境を整え、認知症カフェや介護予防教室などの開催を行い、地域に開かれた施設を目指すと共に、春夏秋冬の節句、行事を利用者、職員のみならず、利用者の家族、地域住民とも行うなど地域に密着した施設を目指す。

<<各部門事業計画案>>別紙7～9参照

『今年度目標』

- ・空床を作らないよう、待機者の状況を常に確認し、空床が出来た際には10日以内の受け入れを目指す。
- ・ショートステイの1日平均利用者6名以上を目標とし、緊急ショートステイの積極的な受け入れを行うと共に、新規利用者の確保に努める。
- ・ニナルカの里まつりや季節の行事、地域の関係団体との交流会などを積極的に企画し、利用者の家族や地域住民も参加できる企画を計画する。
- ・ふれあいサロン「ゲンキアップニナルカ」や認知症カフェなど地域交流スペースを活用した様々な取り組みを計画する。

5. 緑風園居宅介護支援事業所 事業計画





【事業方針】

ニナルカの里内に事業所を移転したことにより、関係市町村・地域包括支援センター及び指定居宅介護サービス事業所との連携をより強化し、2名体制の中で効率の良い稼働を目指し、実績数をあげる体制の構築を目指す。

<<部門事業計画案>>別紙10参照

『今年度目標』

- ・年度末の合計実績60件を目標とする
- ・認定調査の委託を積極的に受け、収益確保に努める
- ・各研修会への参加・関係機関とのネットワーク構築を積極的に図り、スキル向上に努める

総合施設長	責任者	合議 (管理係)	合議 (経理担当)
			

令和2年度（上半期） 部門（ 事務管理 ） 事業計画案

責任者氏名：小林 覚

1. 基本方針

各事業・各部門サービスの運営・人事管理を適切に行う。

2. 本年度目標

- ・緑風園の設備・備品の保守及び修繕・入替を計画的にすすめる。
- ・施設サービス、居宅サービスの利用者増、稼働率の上昇に繋げる広報活動や他部門との協力体制の強化
- ・職員紹介制度や介護補助員制度など人員確保・介護職員の働き方の検討を行う。

3. 役割分担

- ・管理係が中心となって、設備・備品の保守管理や修繕、老朽化に伴う備品等の入替の優先度を検討し、計画的にすすめる。
- ・サービス紹介パンフレット作成や地域住民向けのデイサービス体験会の企画、ホームページやfacebook を活用した広報活動を関係部署と協力しながら進めていく。
- ・事務係が中心となり、職員欠如の際の迅速な補充を目指し、職員紹介制度の創設や介護職員の業務内容の改善・省力化を目指し、介護補助員の検討など進めていく。

総合施設長	施設長	責任者
小田	/	宮腰

令和2年度（上半期）

部門（ 業務係 ） 事業計画案

責任者氏名：宮腰 和人

1. 基本方針

- ・生きがいのある生活、残存機能維持のための個別ケアプラン策定とサービスの提供
- ・地域や家族、他事業所等との結びつきの強化
- ・利用者・家族の不安・不満・疑問を聞き改善に向けて取り組む
- ・指定居宅介護支援事業所・地域包括支援センターとの連携を図り、緊急時必要時に適切なショートステイを提供する

2. 目標

《特養》

- ・空床をできる限り作らない様、新規入所者は10日以内に入所するように調整する。
- ・平均介護度4.0、認知症高齢者日常生活自立度Ⅲ
- ・苦情件数0件
- ・施設スタッフや他機関との情報交換・共有をする
- ・常に丁寧な言葉づかいをする

《ショート》

- ・延べ利用人数1日平均8名利用、1カ月平均240名、半年平均1440名
- ・新規利用者の拡大
- ・苦情件数0件
- ・常に丁寧な言葉づかいをする

3. 役割分担

- 宮腰：
- ・相談業務全般
 - ・各事業所・各施設・家族・当施設各部署職員等への連絡調整等
 - ・申込状況把握・調整、入退園手続き
 - ・入退院や転院に係る連絡調整、相談や手続き
 - ・入居者様、ご家族様にいつでも気持ちのいい挨拶・伝わりやすい言葉づかいに努める
 - ・各種会議の運営

- 所：
- ・ショート全般の業務
 - ・相談業務全般
 - ・各事業所・各施設・家族・当施設各部署職員等への連絡調整等
 - ・申込状況把握・調整、入退園手続き
 - ・入居者様、ご家族様にいつでも気持ちのいい挨拶・伝わりやすい言葉づかいに努める

- 佐々木：
- ・相談業務全般
 - ・申込状況把握・調整、入退園手続き
 - ・入退院や転院に係る連絡調整、相談や手続き
 - ・各事業所・各施設・家族・当施設各部署職員等への連絡調整等
 - ・行事全般調整
 - ・入居者様、ご家族様にいつでも気持ちのいい挨拶・伝わりやすい言葉づかいに努める

総合施設長	施設長	責任者
(小田)	/	(大沼)

令和2年度 部門（給食）事業計画案

責任者氏名：大沼 香菜

1. 基本方針




給食業務に関わる問題点について協議調整し、利用者の栄養管理・食事内容の充実を図る。

2. 本年度目標

- ・安全でおいしい食事を提供する。
- ・食事に対する満足度を向上させる。
- ・利用者の栄養状態の維持・改善に努める

3. 役割分担

- ・トレイチェックを十分に行い、異物混入、誤配を未然に防ぐ。
- ・旬の食材や行事食、おやつを取り入れることで季節感や楽しみを感じられる食事を提供する。
- ・利用者の食事に関する意見、要望に応えられるよう委託側と協議し可能な限り実現する。
- ・他職種と連携し、利用者一人ひとりの状態に適した食事形態・食事量を提供する。
- ・食事に関する利用者からの意見について委託側と協議し、できる限り希望に沿えるよう検討する。

施設長	施設長	責任者
		

令和2年度 部門（ 施設ケア係 ） 事業計画案

責任者氏名：中村 代美

1. 基本方針


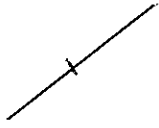

利用者の生活の場として安心して楽しく暮らせる環境と空間を作り、利用者と家族の思いに寄り添ってニーズに応えるケア、サービス提供を行う。
 介護スタッフ全員が適切なケアの提供を行うために専門性を高める研修機会を設ける。

2. 本年度目標

明るい挨拶と笑顔を中心掛け、丁寧な対応を行います。
 利用者が快適に安心して生活できる環境を作ります。
 気配りと常に危険リスクを想定した対応を日々、意識しながら介護事故を防ぐことに努めます。

3. 役割分担

他部門と密に相談、連携を図りケアの質向上に努めます。
 利用者やご家族の思いに寄り添い、安心・快適に暮らせることを大切にした生活環境に配慮します。
 定期的にユニット会議を開催します。
 ケアの質向上・事故防止の対策検討・業務内容の確認、見直しに努めます。

総合施設長	施設長	責任者
		

令和 2 年度（上半期） 部門（ 看 護 ） 事業計画案

責任者氏名：篠崎 修平

1.基本方針

- 入居者のご家族の意向に寄り添った看護ケアを提供する。

2.本年度目標



日常生活の中で観察を行い小さな変化を見落とさず、早期に異常を発見し医療の必要性を的確に判断するよう支援する。

入居者の生活歴・家族背景・既往歴・治療過程を理解し、現在の状況を把握したうえでより良い看護が提供できるよう努力する。

3.役割分担

体調不良時には、状態に応じ迅速に対応し必要に応じてご家族・医療機関と連絡を図ります。

入居者の状態変化の際には電話連絡や面会時に個々の状態を報告し、必要に応じ助言等を行います。

施設長	責任者
	

令和 2 年度（上半期）部門（ デイサービス ）事業計画案

責任者氏名： 瀬尾 一弘

1. 基本方針

- 1) 利用者の尊厳の厳守
- 2) バイステック7原則の徹底
- 3) 自己のスキルアップや利用者の生活全般において、どのような課題、ニーズがあるのか発見した上で、QOLを高める為の介護方法を提供できるよう各々が勉強や資格取得に取り組む。
- 4) 専門性の見地と連携強化＝アウトリーチによる在宅支援、地域ケアの基礎作り
責任的力量的強化

2. 本年度目標

要介護利用者の利用を重点に置き、要支援者の利用も行いながら、定員18名の地域密着型通所介護の運営を行うため、利用回数の増、欠席された方へ振替利用できる事の提示、他事業所への営業回数を増やし空き状況をお知らせし新規利用者の獲得等、利用回転率を上げ、一日利用回数の人数を17名～18名の出席を目指す。

3. 役割分担

- 1) 介護職・看護職・相談員の役割意識を明確にし、デイサービスの収益や、現状の業務について理解を深めていく。
- 2) 重度化に対応できる職員の育成と医療、介護知識の強化
 - ・医療は看護師を中心に
 - ・介護はケアワーカーを中心に
 - ・相談援助、運営はソーシャルワーカーを中心に
- 3) 環境整備の見直し 各備品等の修理や購入の相談をし、利用者の安全確保、事故を未然に防げるようにしていく
- 4) 丁寧な言葉使いの徹底、業務見直しを定期的に確認、実施し、ご利用者本位の取り組み(サービス)を常に心掛ける

総合施設長	施設長	責任者
小田	永山	奥山

令和2年度 部門（ニナルカの里 業務係）事業計画案

責任者氏名：奥山 繁

1. 基本方針

- ・その人、個人にあった、個別性のあるサービス計画の策定
- ・入居者が営んでいた生活を尊重する施設づくり

2. 本年度目標

《特養》

- ・空床前の入所申込者上位の方に早めに連絡、空床を作らない
- ・施設スタッフや他関係機関との連携と情報交換を行う
- ・利用者、介護職員には常に笑顔で丁寧な言葉づかいで接する
- ・苦情件数0件

《ショート》

- ・1日延べ平均利用6名
- ・新規利用者の確保
- ・苦情件数0件

3. 役割分担

- ・相談業務全般、ケアプラン作成
- ・各事業所・各施設・家族・当施設職員への連絡調整
- ・申込状況把握・調整、入退所手続き
- ・地域、他事業所、病院、地域包括支援センターとの連携を図り、緊急時等適切な対応を行う（緊急時のショートステイ等）

総合施設長	施設長	責任者
小田	永山	田中

令和2年度 部門（ ニナルカの里 施設ケア係 ）事業計画案

責任者氏名：田中 由美子

1. 基本方針

ユニットケアの理解・個別介助の専門知識の向上を図り、入居者のニーズを真摯に受け止め、施設においても自宅での生活を継続できる為の仕組み作りに取り組む。

2. 本年度目標

ユニット型施設としての特性を十分に活かしたケアの実施。「居場所」と感じられる暮らしの提供。ケアの質・専門性の向上を目指します。

3. 役割分担

○ユニットケアの充実

- ・24時間シートの活用で、入居者一人ひとりの個性と、個人の生活を意識した個別ケアを実施します。

○リスクマネジメントの強化

- ・安全かつ適切に、質の高いサービスを提供するために事故防止に努めます。
- ・ヒヤリハット事例の分析と防止対策を徹底することで事故を未然に防ぐ体制を整えます。

○職員研修の充実

- ・個々のレベルに合わせた研修・勉強会を開催し、スタッフの専門性の更なるスキルアップに努めます。

総合施設長	施設長	責任者
小田	永山	鎌田

令和2年度 部門（ニナルカの里 看護係）事業計画案

責任者氏名：鎌田 さあや

1. 基本方針

多職種で連携し、利用者の体調管理を行い、医療機関と連携をはかり、快適な生活を送れるよう努める。

2. 本年度目標

- ・利用者一人ひとりと積極的に関わり、日々の生活の様子を理解し症状の早期発見や予防に努める。
- ・ご家族や多職種で情報の共有をおこない、尊厳のある生活を送れるよう努める。

3. 役割分担

- ・利用者の体調管理を行い、医師への的確に報告し診察補助を行う。
- ・対応できる医療についてご家族へ説明を行い、ご理解していただけるよう努める。
- ・体調不良時等利用者に変化があった場合、ご家族への報告を行う。
- ・利用者の状態について、介護職員が理解できるよう説明・助言を行い介護不安の軽減につなげていく。

総合施設長	施設長	責任者
小田	永山	津村

令和2年度 部門（ 居宅介護支援 ） 事業計画案

責任者氏名：津村 祥子

1. 基本方針

- ① 効果的かつ実現可能な質の高い居宅サービス計画の作成。
- ② 医療との連携および多職種協働の実践。
- ③ 関係市町村・地域包括支援センターおよび指定居宅サービス事業所等との連携。

2. 本年度目標

- ① 年度末の合計計画件数 60 件を目標とする。
- ② 各研修会への参加・関係機関とのネットワーク構築を積極的に図り、スキル向上に努める。

3. 役割分担

- ① 千寿会関係事業所との連携。
- ② 効率よく稼働し、実績数をあげる体制の構築。各関係機関への定期訪問。